

まららに郷音く 囃子と節

やすぎ月の輪まつり

夜空にこだまする笛と太鼓の音。そして「エンヤエンヤ、デコデットーヤー」の掛け声。今年も8月14日から4日間、月の輪神事にあわせて「やすぎ月の輪まつり」を開催しました。

毎夜、4つの自治会が繰り出す山車が、囃子や掛け声とともに町内を練り歩きます。帰省した人にとっては故郷を、また、地元の人にとっては夏から秋への季節の移ろいを感じさせてくれるメロディです。

このまつりに欠かせないもう一つの音色が安来節。自治会ステージなどでは、名調子が披露



されました。また、16日には安来節踊りを開催。サンバ調やゆつたりとした正調安来節の伴奏で、約500人の参加者が大通りを踊り歩きました。

神事の囃子と安来節。夏の安来に響き渡り、また、なくてはならない音色です。



安来節の名調子を披露
安来庁舎から撮影



観客を魅了した安来節踊り





①



②



③



④



⑤



⑥

①神事四重連では次々と乱打ちを披露。②オープニングは交流事業の「米子がいな太鼓」。③安来節踊りにはどじょうすくいも登場。④ダンスコンテストの様子。⑤2人組で叩く神事の太鼓。⑥仁輪加には多くの人だかりができました。

【花火大会のお詫び】 降雨の中、花火大会に多数ご来場いただきありがとうございました。当日は、会場の安全確認のための一時的な中断、また、終了直前には強風のため打ち上げを中止しました。お詫び申し上げますとともに、引き続き安全な大会運営を心がけて参ります。
月の輪まつり振興会 / 安来市